

# 林材業の業況動向調査結果の概要 (平成23年度上期)

平成23年8月  
独立行政法人  
農林漁業信用基金

## (調査概要)

- 農林漁業信用基金が、業務参考資料として、年2回程度実施
- 今回は、平成23年6月時点での上期(23年4月～23年9月)の見通し・現況、22年度下期(10～3月)の実績を調査。有効回答回収率は47.5%(有効回答企業254社。)
- 農林漁業信用基金HP(<http://www.affcf.com/>)に詳細情報を掲載

## (凡例)

- ・ DI：動向指数(Diffusion Index)。プラス要因指数からマイナス要因指数を控除し算出
- ・  $\Delta$ ●P：マイナス●ポイント
- ・ 前回(調査)：平成22年11月に実施した本調査(平成22年度下期調査)

## 1 売上等

- 売上(見通しDI(増加－減少))は $\Delta$ 33P (前回調査より19P下回り、今回の傾向として、東日本大震災の影響等から、「増加」が急減、「減少」が急増。国産材企業、外材企業ともその傾向が顕著。地域別では、北海道、北陸が上回った以外は、全国的に下回り。)
- 純利益(見通しDI(増加－減少))は $\Delta$ 43P (前回より14P下回り、前回まで3期連続で上向き傾向が今回、逆転。北陸が上回った以外は、全国的に下回り。)

## 2 資金繰り等

- (1) 資金繰り(見通しDI(好転－悪化))は $\Delta$ 36P (前回より15P下回り。)
- (2) 借入金調達難易度(見通しDI(容易－困難))は $\Delta$ 22P (前回より7P下回り。)
- (3) 借入金残高(見通しDI(増加－減少))は $\Delta$ 3P (前回より12P上回り)
- (4) 短期借入金の金利(見通しDI(上昇－低下))は2P (前回より7P上回り。平均金利の実績は2.71%(前回より0.08%上昇。))
- (5) 売上代金の回収状況及び仕入代金の決済状況では、
  - ① 売上代金の回収は、「手形50%以下」が微増、「全額現金」が微減
  - ② 受取手形のサイトは、「4ヵ月以上5ヵ月未満」が増加、「3ヵ月以上4ヵ月未満」、「5ヵ月以上6ヵ月未満」が減少
  - ③ 仕入代金の決済は、「全額現金」、「手形50%超80%未満」が増加、「手形80%以上」が減少
  - ④ 支払手形のサイトは、「3ヵ月未満」、「6ヵ月以上」が増加した以外は、減少

## 3 設備投資の意向

- (1) 設備投資(見通しDI(実施－不実施))は $\Delta$ 39P (前回より3P下回り、投資意欲は依然低調。22年度下期に設備投資を実施した企業の割合は $\Delta$ 62P。見通しDIを26P下回り。)
- (2) 設備投資予定の目的(上位3項目)は、「老朽化に伴う設備の更新」(46%)、「コスト低減等の合理化」(24%)、「乾燥材の生産」(12%)

## 4 在庫量の見通し

- (1) 原木在庫量(見通しDI(過大－過小))は $\Delta$ 14P (前回より8P上回り。)
- (2) 製品在庫量(見通しDI(過大－過小))は7P (前回より16P上回り。)

## 5 木材価格の見通し

- (1) 原木価格(見通しDI(上昇－下落))は7P (前回より26P下回り、上昇傾向が今回「減少」。)
- (2) 製品価格(見通しDI(上昇－下落)) $\Delta$ 16P (前回より6P下回り、「横這い」の傾向が継続。)

## 6 その他

- (1) 今後の経営(見通しDI(楽－苦しい))は $\Delta$ 38P (前回より12P下回り、急落。)
- (2) 経営上の問題点(上位3項目)は、「売上不振」(27%)、「販売価格の下落」(21%)、「原材料仕入れ原価上昇」(17%)で、前回調査と同様。

以上